

弘経寺だより

発行所

寿龜山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895

職人

主管 金田大祐

あけましておめでとうございます。

新春を迎え皆様のご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

〇 〇 〇 〇

内陣の修復のみを残して、本堂が竣工しました。修復が終わるのが今月下旬ですので、それまで本堂を使用することはできませんが、立派な新本堂の内装、外装が整いましたこと、心より嬉しく、ありがたく思います。

第21号
果たしたおかげをもちまして、竣工を

迎えることができました。本当にありがとうございます。

思い返せば、江口前任職御導師のもと起工式を営みましたが平成十八年九月四日。あれから一年と四ヶ月の月日が経ちました。その間、私は毎日、日々刻々と旧本堂が生まれ変わって行く様を見てまいりました。秋空のもとに行われた解体作業、寒い冬の間は曳家工事と基礎工事が行われ、春になると柱と屋根が組まれ、猛暑だった夏の間には銅板葺屋根・床・壁下地ができ、秋には新しい本堂がその立派なお姿を現しました。

私はここ弘経寺に来る前に陶工となるための修業をしていた時代がありました。陶工とは焼き物を作る職人のことです。職人とは「ものづくり」の専門分野において確かな技術を持った人のことで、特に焼き物作りにおける職人とは、例えば、轆轤で湯呑などを何千も挽くことによって、一定の形で、一定の重さで、一定の大きさで、

一定の薄さに手際よく挽ける技術を培った人のことを言います。

私はこの一年と四ヶ月、この弘経寺新本堂という作品を造るために心血を注ぎ続けた職人の卓越した技と勤勉な仕事を毎日見続けてきました。昼夜を問わず、休日さえも返上して、ただ一心に木材を運び、切り、磨き、鑿を振る職人の姿を見つけてきました。

世の中には預金通帳の数字を増やすことにのみ生きがいを見出している人もいますが、この職人さんたちはそれとは正反対の生き方をしています。自らの手でものを造り上げて行くことにこの上ない生きがいを感じている人々です。人の手になるもの、後世に伝えられて行くものを造ることに誇りを感じられる人でなければ、職人の仕事はできません。この弘経寺新本堂を造られた羽馬組の宮大工職人の皆さんはそのような心意気を持った方々でした。心から敬意を表します。

私は僧侶も職人でなければならぬと思います。日々お念仏や掃除、仏教の勉強を積み重ねる中で、現代に相應しい布教や社会事業を創り、提案して行くのが大事だと思っています。

日々の地道な作業と修練の果てに創り上げられるものこそ、確かで美しい光を放ちます。職人的に生きること、それが私の理想です。

〇 〇 〇 〇

弘経寺の新年、二〇〇八年は新しい本堂と共に幕を開けました。弘経寺が新たな歴史の第一歩を踏み出そうとしている今、私は本堂建設に携わった職人の方々のようにコツコツと地道な作業を積み重ねて行く中で、何か新しく美しきものを創造することに力を注いで参りたいと思っています。本年も宜しくお願い申し上げます。

私達が本堂を造りました

羽馬組 羽馬敏彦(親方)



昨年の八月弘経寺さんの仕事をはじめてから一年と三ヶ月経ちます。

金剛組へ入ってから三十五年、色々な神社仏閣の仕事をしてきましたが、これだけ格の高いお寺の仕事をさせてもらい、有難うございました。あと何年この仕事を続けられるか分かりませんが、死んだ祖母、父母らに良い話ができます。色々お世話になりました。

私達が本堂を造りました

羽馬組 羽馬智司



桜の咲く春から曼珠沙華の咲く秋までの半年間、主管理や檀家様に大変

よくしていただき、その中で仕事が出来た事を大変光栄に思います。本当に色々よくしていただき、本当にありがとうございました。

羽馬組 山本恵勇



弘経寺本堂の改修工事をさせていただき、大変光栄でした。ありがとうございました。

ございました。

羽馬組 福田大介



日本堂の解体から新本堂の仕上げまで一年間弘経寺の工事に参加できた

ことに感謝の気持ちでいっぱいです。

日本堂に昔の職人の技を見せてもらったので、これからの仕事に活かして

号行きたいと思えます。

第21

羽馬組 渡部晋



今年の夏はとても暑く大変でした。この歴史ある建物に携われたことに深く感謝をしています。これからも弘経寺の発展と皆様のご健康を遠くからお祈り申し上げます。

羽馬組 花山元気



弘経寺本堂改修工事では、古材を使ったりして、初めての仕事ばかりでも大変でしたが、これも良い経験になり、これからの大工仕事の良い糧になると思います。良き思い出、良き仕事。の弘経寺改修工事でした。

羽馬組 岩崎浩司



今回、弘経寺本堂改修工事に携わって、色々なことを学ばせてもらいました。

まだまだ若輩者ですが、精一杯の気持ちを込めて仕事をしましたので、気に入っていただけたら光栄です。

江口定信前住職 一周忌

昨年十一月十八日(日)、水海道部内の御上人の方の御助法をいただき、十夜法要が営まれ、法要中昨年十二月二十九日に御遷化された江口定信前住職の一周忌のご回向をいたしました。お念仏をお称えしながら、本堂の改修工事が完了に近づきつつあることを故江口前住職にご報告しました。

初薬師

「薬師堂」は徳川千姫様の所願により建立されたと伝えられています。護摩木祈願とはこの薬師堂内に安置される薬師如来に、皆様のお願いを護摩木に書いて御祈願するものです。御祈願の日程等は左記の通りです。是非ご参拝ください。

日 時 平成二十年一月三日(木)

午前十時

場 所 弘経寺「薬師堂」前

申込方法 冥加料(一件につき五〇〇円)と申込書を添えて、各地区の世話

人さんにお申し込みいただくか、当日直接御申し込みください。

新年会

左記の通り、新年会を開催いたしま

す。参加ご希望の方は各地区担当の世話人さんに参加をお申込みいただくか、市外にお住まいの方は、弘経寺(TEL 0297-2410895)までご連絡ください。

日時 平成二十年一月二十七日(日)

正午十二時

会場 弘経寺古書院

会費 一〇〇〇円(当日徴収します)

大掃除

昨年十二月十六日、毎年恒例の大掃除が行われました。当日は約二十五名のお檀家さんにお集りいただき、すす払いや窓拭きなど、お寺を隅々まできれいにさせていただきました。弘経寺御本尊も喜ばれていることと思います。お手伝いくださいました皆様、本当にありがとうございました。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方が極楽へ往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

- 一〇月二二日 神林 はつ 九五歳
- 十一月 八日 落合 みき 一〇四歳
- 十一月二四日 鈴木 くに 八八歳
- 十二月二日 落合 登 七七歳
- 十二月一九日 海老原二三郎 一〇〇歳